

## 第五十五回全国学校体育研究大会 福島大会開催にあたって

福島大会実行委員会 会長 森 知高



第五十五回全国学校体育研究大会福島大会の開催にあたり御挨拶を申し上げます。

福島県では、平成二十四年度に本大会の開催が決定されて以来これまで、福島の子供たちが、生き生きと活動する姿を全国の多くの先生方に見ていただきたいという思いで、大会に向けた準備を進めて参りました。

中でも研究においては、学習指導要領に示されている内容を各教師が十分に理解し、指導と評価が一体となった授業づくりを重視してきました。また、指導内容の体系化の視点を取り入れながら、確実な定着に向けた体育学習の充実を図ってきました。さらに本年度からは、福島県教育委員会における「第六次福島県総合教育計画平成二十八年度アクションプラン」により、児童生徒の主体的な学びを促す教育活動に取り組んでいます。

本大会では、大会主題を「仲間とともに運動の楽しさを味わい、生涯にわたって運動・スポーツに親しむ資質や能力をはぐくむ体育授業～ふくしまの未来を担う心身ともにたくましい子供の育成を目指して～」と設定しました。

大会初日となる十一月十日（木）の全体会は、「とうほう・みんなの文化センター（福島県文化センター）」で行います。午前中は、「開会式」を皮切りに、「表彰式」、「基調報告」を行います。「基調報告」では、福島県のこれまでの取組、とりわけ「特色ある年間計画・単元指導計画」「子供の主体的な学びと学び合い」「授業の改善や支援に生きる評価」を柱に研究を進めてきたことを報告させていただきます。午後からは、「解説」、「シンポジウム」、「特別講演」を行います。「解説」では、スポーツ庁政策課教科調査官森良一氏より「育成すべき資質・能力を踏まえた体育・保健体育の指導と評価の在り方」について解説していただきます。「シンポジウム」では、コーディネーターの山口香氏（筑波大学）と全国から集まっていたいただいた五名のシンポジストの先生方に、「体育・保健体育で育成すべき資質・能力について」というテーマで討論をしていただきます。全体会の最後を飾る「特別講演」では、株式会社テレビ朝日スポーツ局スポーツコメンテーターの宮嶋泰子氏に「スポーツの現場取材から学校現場に期待すること」と題して講演していただきます。スポーツの現場取材の視点から、幼稚園や各学校段階を通じて、運動やスポーツへの関心を高め、多様なスポーツとの関わり方を楽しむ基盤をどう育成していくべきか、今後の取組につながるご示唆をいただけるものと期待しております。

翌十一月十一日（金）には、幼稚園一園、小学校四校、中学校三校、高等学校二校、特別支援学校一校、合わせて十一園・校で、「公開保育・授業」、「研究発表・研究協議」を行います。大会主題の具現化に向け、運動に親しむ資質や能力を確かに保証する質の高い体育の授業づくりを目指し、各園・校が創意工夫を凝らし、取組を進めてきた成果を発表いたします。

福島大会においては、研究主題に迫るために、幼稚園から高等学校までを見通した四つの時期とともに、特別支援学校における発達段階や障がいの特性に応じて「技

能」「態度」「知識、思考・判断」の学習内容を身に付けさせる授業の展開に焦点をあてて検討いたしました。是非ご覧ください。また、協働的な学びを活用し、かかわり合いながら主体的に学習に取り組めるよう、発達段階に応じた指導方法を工夫している点についても御注目ください。

本大会の開催の機会を得たことで、本県の幼、小、中、高、特別支援学校のそれぞれの研究組織がさらに充実し、大学等との連携を通して学校体育の研究体制が整備されたことが私たちにとってかけがえのない財産となりました。

大会当日には、全国の学校体育関係者の皆様に多数ご来県の上、体育学習の在り方を御覧いただき、御意見や御指導を賜りますようお願い申し上げ、御挨拶といたします。